

会社より回答が示される

会社回答（一部抜粋）

◆基準月数

正社員・地域限定正社員・エルダー社員 **2.80カ月**

（対前年+0.20カ月 対夏季+0.10カ月）

Fスタッフ・Tスタッフ **1.68カ月**

（対前年+0.12カ月 対夏季+0.06カ月）

◆支給日（予定）

12月15日（月）とする

◆Aスタッフ一時金の業績加算

年末一時金に9,000円を加えて支給する

主張要旨

2025年度上期における組合員・従業員の努力・頑張りとその結果である決算状況を踏まえると、もう一步踏み再度の検討をお願いしたい。

－継続協議－

【組 合】第1回団体交渉では会社回答決定前により検討していただきたいという思いで要求趣旨を再度お伝えしたうえで、アンケートや職場集会で寄せられた組合員の声・想いというものを主張させていただきました。要求書そして第1回団体交渉の内容を踏まえて検討していただいた会社の回答をお示しいたきたい。

【会 社】10月21日に、貴組合より「2025年度年末一時金に関する団体交渉の申し入れ」及び11月6日の団体交渉を受けまして、2025年度年末一時金について検討を重ねてまいりました。本日はその回答をさせていただきます。

＝回答書交付＝

【会 社】当社の2025年度の上期決算については、増収施策の推進等により、営業収益は増収となりました。販管費の増加があったものの、営業総利益の増加が上回ったため、営業利益も増益となりました。

これは、業績を伸ばした昨年度以降も、日々のオペレーションを的確に進めつつ、構造改革並びに既存の価値の増加及び新たな価値創出を着実に進めてきた、社員の皆さんの努力と知恵と奮闘があったからこそその成果であり、心から深く感謝申し上げます。

日本経済については緩やかな回復基調は継続していますが、国内外の経済の先行きが不透明な状態が続いており、物価高による節約志向の高まりもあって、個人消費は依然として力強さを欠いています。原材料価格や物流にかかるコスト負担の増加も続いています。会社全体では対計画では

増益であったとはいえ、フーズカンパニー以外のカンパニーは対計画では営業利益は目標に達していません。

今後も日々の「的確適正なオペレーション、安全・安心の提供」「構造改革の継続」「優先順位の低い業務の見直し・改善」を不変的な方針として引き続き進めるとともに、「既に実施している施策の磨き上げ＝既存の価値の増加」を着実にやっていくことに加え、当社の各事業の強みを活かした新規顧客・市場開拓による「新たな価値の創出」の各施策を、さらに推進していかなければなりません。

2025年度の年末一時金については、業績や経営状況等を踏まえるとともに、継続して取り組んでいただいている構造改革への尽力、各カンパニーの増収施策への取り組みなど総合的に勘案し、一人ひとりの社員が良質の危機感と旺盛な問題意識を持って、チャレンジし続けることを強く期待して、回答書の基準月数とします。

== 回答書内容読み上げ ==

【組 合】ただいま私たちの要求に対する回答及び考えが示されました。まずは期限内に回答をお示しいただき、ありがとうございました。要求趣旨や組合員の声・想いを踏まえて検討していただいたと思いますが、今回会社から示された回答内容や考え方について、あらためて確認させていただきたい。

--- 基準月数の検討について ---

【組 合】年末一時金の基準月数は夏季一時金よりも0.1カ月上積みされた回答となっていますが、この上積みに至った考え方、検討された要素を具体的に教えていただきたい。

【会 社】2025年度上期も前年度を上回る利益であったことについて、本当に皆様のご尽力の賜物であると思っています。どうしたら最大限の回答を出せるかということを考え、検討した結果、今回の回答内容といたしました。

【組 合】3年連続で賃金改善がおこなわれ、一時金の基礎額が高まっているなかで、夏季一時金よりも0.1カ月上積みされた回答が示されたことは、会社としては非常に大きな判断であったと受けとめています。基準月数を決定するうえで、会社業績は重要な要素になると捉えていますが、社長をはじめ各カンパニー長の考えも踏まえて回答するにあたって、各カンパニー共通して重視したのはどのような観点になりますか。

【会 社】定量的な部分というのも判断の材料となっていますが、営業利益だけでなく、日々の的確なオペレーション、構造改革、各カンパニーの増収施策の取り組みはもちろん、既存の価値の増加や新規顧客、市場開拓による新たな価値の創出の各施策も含めて、定性的な要素も含めて回答をしております。

--- 職場の努力・頑張りについて ---

【組 合】先ほど尽力の賜物という言葉いただきましたが、その頑張りがどのように反映したのか、組合員・従業員をどのように見ているのかという、会社の考えに期待しており、その会社の考えに納得できること

や、より具体的に示していただくことが、より一層の奮起に繋がると考えています。その点において職場の頑張りを踏まえた回答であると認識していますが、新規顧客や新たな価値の創出といった内容につきまして、より具体的にお答えいただきたい。

【会 社】ニューデイズクロスは3年目となり集大成を迎えていることに加えて、お客さまとの顧客接点を大事にしようということ、そのためにもオペレーションのレベルを上げていきたいと思いますということについて年度初から進めています。また、止まらないインフレ局面でお客さまに対してどのように訴求の仕方をしていくかということについては、店頭立つ社員の皆さんが奮闘しているからこそ、今の売上は成り立っていると認識しており、その頑張りを極めて重要視しています。これからも様々な頑張りをしていかなければならないなかで、伸びしろもあると思う反面、売上よりも、経費が増える傾向が続いており、工夫しながら進めていかなければならないという問題意識を持っています。今回、回答させていただいた内容は、そうした、これから先の経済状況や、当社を取り巻く環境を含めて、社内みんなで力合わせて頑張っていきたいという数字の表れです。組合員の皆さんにも本当に頑張ってもらっているなかではありますが、さらにもっとみんなの力で良い会社にしていきたいので、そういった会社の思いを職場に伝えていただきたいです。

【会 社】また、ニュータスの展開も新しい施策となりますが、会社の施策にみんなで一生懸命取り組んでいただいていると認識しています。ブランドをこれだけ大きく変えるというのはなかなかないことです。その場面で具体的にみんな盛り上げてくれていますし、これから育てていかなければならないという面や、新しい市場開拓という意味では大きな施策となっています。

【組 合】やはり将来に向けてJR-Crossが選ばれる会社になるためには、努力や頑張りの成果というものを、働く組合員・従業員が実感でき、頑張った者が報われる、こういうことをやってきてよかったと感じられることが非常に大事だと思っています。数値だけではなく、先ほどのようなメッセージもその一つだと思っていますが、この一時金の基準月数に反映していただくことが、より一層のモチベーションに繋がると考えていることから、私たちは2.90カ月を要求していますので、もう一步踏み込んだ検討というものをお願いしたい。

--- 設備投資・成長投資について ---

【組 合】また、将来に向けて会社業績を高め続けていくためには、設備投資・成長投資をおこなうことが必要不可欠であると考えていますが、具体的な設備投資や成長投資として、考えている取り組みなどがあれば、教えていただきたい。

【会 社】新規開業や、既存施設のリニューアルなどは、まさにそういったものの積み上げもありますし、会社全体としてはシステム化がこれからの大きなテーマとなってきていますので、こちらについても積極的に取り組んでまいります。また、休憩室あるいは寮の整備など、費用をかけて取り組んでいます。会社としては全体的な設備投資という意味では積極的な投資をおこなっています。

【組 合】現場では創意工夫と努力をし、高い計画に対して取り組んでいます。中長期に向けて損益計画を達成し続けていくためには、現場努力だけではなく、経営レベルでの戦略的判断や投資が必要となる場面も出てくると考えています。特にカンパニーを横断した取り組みの推進や、統合効果

の最大化、M&Aを含む新規事業創出など、経営でしかできない領域も重要になると考えています。組合員・従業員も会社をより良くしていくために、それぞれの現場で問題意識、知見や努力を出し合って取り組んでいます。労使がそれぞれの役割と責任のなかで同じ方向を向いて取り組みをおこなっていくことが、会社の持続的な成長に必要不可欠だと考えています。会社には会社にしかできないこととして、将来を見据えて積極的かつ効果的に投資していただきたいと思います。投資には、思い切って実施することもあると思いますが、組合員・従業員が「この会社で働き続けたい」「働いていて良かった」と、JR-Crossの未来を感じられるような、価値のある投資を引き続き見極めておこなっていただきたい。

【会 社】利益を原資とした投資経費の有効活用を通じて、社員の幸福を実現するスパイラルは永続的です。この、正のスパイラルを会社、社員一体となって、さらに加速させていきたいと思いますというのが会社の思いです。

--- 物価上昇について ---

【組 合】今のお話がひとつの答えになるかもしれませんが、要求内容を検討するうえでは、直接の検討材料から除いていますが、職場意見でもありますように、やはり物価の上昇の影響については、物流コストや様々な原価の上昇、インフレという話もありましたが、会社にとっても大きいものであると認識しています。そうしたなか、夏季一時金よりも上積みされた回答をいただいておりますが、会社が自分たちの生活を守ろうとしてくれていると組合員・従業員にそういったことが継続的に伝わるのが安心感に繋がり、結果として、エンゲージメントを高めることができると私たちは考えております。会社としての考え方はいかがでしょうか。

【会 社】会社としては、物価は上昇していると捉えており、そのことが皆さんの生活の資金に影響しているということも承知しています。一時金については会社の業績に基づいて月数を決定しているため、物価上昇があった際にそれが一時金に反映することにはならないと考えています。

【組 合】私たちは、働く組合員・従業員が安心して力を発揮し続けられる基盤を整えることは、会社の社会的責任であり、持続的な成長にもつながると思っています。会社が、自分たちの努力を見てくれている、考えてくれていると感じられることが、安心感となり、エンゲージメントの高まりや新たな挑戦への原動力となります。そうした人への投資を、将来への投資のひとつとして、引き続き前向きに考えていただきたい。

--- Aスタッフ一時金の業績加算について ---

【組 合】また、私たちからの要求ではありませんが、今回、Aスタッフの一時金へ9,000円の業績加算をおこなう考えを教えてください。

【会 社】Aスタッフに関してはこれも社員と同様、会社の業績を見たいうえで、昨年並みの利益を確保していること、計画には達していないなかではありますが、さまざまな面を考慮して金額を決めています。

【組 合】ぜひ会社の考えや思いが伝わり今後のモチベーションに繋がるようにしていただければと思います。

【組 合】項目ごとに会社の考えを確認させていただくとともに私たちの想いというものを主張させていただきました。これは年度末だけではなく、中長期に向けて引き続き損益計画の達成を目指していくためには、これから先も頑張っていくモチベーションとなるものが必要だと考えており、一時金もその一つであると考えているからです。今回会社から回答が示されま

したが、3年連続で賃金改善がおこなわれるなかで、夏季を上回る月数が示されたということは、私たちもしっかりと受けとめたいと考えています。

そのうえで、2025年度上期における組合員・従業員の努力・頑張りとその結果である決算状況を踏まえますと、もう一步踏み込んだ回答をお願いしたい。9月末時点での利益剰余金は719億円であり昨年の同時期と比較すると、44億円の増と順調に増えており財務基盤は安定していると捉えています。これは、増収施策やコストダウン施策、構造改革の取り組みをおこなった結果であることから、組合員・従業員一人ひとりの努力・頑張りと成果に対して答えていただきたい。

このことから会社としてもう一步踏み込んだ再度の検討を求めます。私たちは会社から回答が示されたことから回答に至った考え、今交渉で確認した内容についてしっかりと受けとめたうえで、職場に周知・意見聴取をおこなっていきたいと考えています。次回の団体交渉では、会社の再検討結果の確認と私たちとしての考えを再度述べさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【会 社】利益剰余金の話が出ましたが、会社としては、月数を押さえたりすることは考えていません。賃金改善を昨年度以上に実施しているうえでの今回の回答となりますので、今までで一番となる月数、支給額での回答をしています。先ほど申し上げましたとおり、正のスパイラルをさらに加速させていきたいというのが会社の思いですのでご理解いただきたいと思います。

【組 合】一時金の回答内容だけではなく、団体交渉の内容も踏まえて、利益を原資とした社員の幸福を実現するスパイラルが循環しているということを伝えて、労働組合としての立場から、組合員・従業員の働きがいに繋がっていきたいと考えています。

第3回団体交渉日時

11月21日（金）13時00分から

第3回団体交渉にご注目ください